

1990

8

No.397

入善報

盆踊りワイワイ号

水キラキラ
町いざい入善

●発行/入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入磨3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集/総務課

・町のイメージアップ作戦

PART. 28 「緩傾斜ブロック堤」

コンクリートだらけの入善海岸が面白くなってきました。昨年完成した横山海岸の緩傾斜ブロック堤は、自然に近い勾配で波打ち際まで行って水に触れることができます。能登に沈む夕日など高台からの眺めも良く、岬に立った気分も味わえます。最近では、若い人たちのデートコースにもなっているようです。





緑化推進運動功労者として入善町が 内閣総理大臣表彰を受賞

表彰式は、7月6日東京の内閣総理大臣官邸ホールで行われました。受賞式には柚木町長らが出席、海部総理大臣から大きな賞状と盾が手渡されました。

この表彰は、過去に大臣賞を受賞したあと3年以上経過し、現在も優れた緑化活動を実践している個人や団体に贈られるものです。今回は全国で5人の個人と19の団体が表彰され、富山県では入善町と福岡町山岸生産組合が選ばれました。入善町は昭和60年10月にも建設大臣から「緑の都市賞」を受賞しています。

今月は、町の緑化に対する今までの経過と今後の方向を取り上げてみました。



分かるかな？ 入善弁

お年寄りには懐しく、若い人は首をひねるかもしれない入善弁。さて、今月はどんな「ことば」が登場するやら…。

「ひとり」より「みんな」でみどりのまちづくり
まちを花と緑で埋めつくそう

町の緑化事業の歩み

- 全国に先駆け「公園都市」を宣言 (S47.9)
「緑をまもり、緑をつくり、緑につどう」まちづくりを開始しました。
- 町の木に「こぶし」を制定 (S48.4)
合併20周年を記念してこぶしを町の木に指定。全世界に苗木を配布しました。
- 中央公園(運動公園)を整備 (S48~)
町の緑のシンボル、拠点にしようと、昭和48年から順次整備が進められました。広さは約28,000坪。
- 沢スギは町民の宝 (S48.8)
かつての黒部川扇状地の植生を伝える町の貴重な自然。昭和48年には国指定の天然記念物に。
- フラワーセンターがオープン (S51.10)
観賞温室や植栽温室を備え、年間を通じていろいろな草花を栽培。公園都市宣言の町の中核的な存在です。
- 保存木の指定 (S55年)
樹齢の古い名木や巨木など町を代表する木を中心に、現在34か所を指定。地域のシンボルにもなっています。
- 町の花に「チューリップ」 (S58.7)
町民のみなさんから募集したところ、圧倒的な人気で選ばれました。球根生産は県内有数。
- 「入善町グリーンプラン」を作成 (S62.3)
入善町全体を花壇にしようと、その計画を進めていくための教科書をつくりました。
- 県植樹祭を開催 (S63.5)
5月、河口公園で1,300人が参加して行われ、クロマツや桜など11種、1,300本を植樹しました。



田園のメルヘンを求めて

公園都市宣言

今回の受賞理由として、昭和47年の「公園都市宣言」から1人当りの公園面積を18、39平方メートルと高い水準に伸ばしたこと、保存木の指定や住民参加の公園管理、行政と住民が一体となって地道な活動を続け今も成長してきていることなどが総合的に評価されました。

入善町の緑化運動は、「公園都市宣言」に始まったといえます。これは、農業基盤整備によ

って失われかけていたかつての田園の緑の景観を取りもどし、人々の生活と緑が一体となった文化を築こうという願いと決意であり、今もお私たちの心に根付いています。

公園づくりは、町の緑化の中心となるものでした。緑のスペースを多くし町民が気軽に立ち寄り安らげる場を確保しようと、昭和48年ごろから次々に造成。中央公園や墓ノ木自然公園、

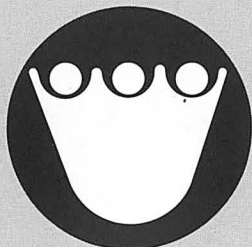
各地区児童公園など現在28か所の整備が完了しました。最初は0だった一人当り公園面積も、今では県下第3位に成長しました。それぞれの公園では、管理人さんや地区のみなさんがいっしょになって花壇の手入れや清掃奉仕を行なっています。

昭和51年にはフラワーセンターがオープン。ここで育てられた花は公園や学校の花壇、商店街や工業団地のフラワーポットへと移され、その数も毎年増え続けています。

道行く人の心を柔らげ、まちの景観をよくする街路樹。町道浦山新上野線ほか約5kmの路線にヤナギやプラタナスなど、これまでに553本の木が植えられました。また、農道や河川、海岸沿いには「芝桜」やクロマツがいたるところで植えられています。

これらの取組みは、行政だけでなく、各地区町内会や婦人会、老人会、青年団、児童クラブなど地域の一人一人の手によって支えられてきました。また、花と緑の愛好者らで組織するサークルは現在23団体を数え、ボランティアでいろいろな活動を進めています。

今回の受賞をみんな喜び、さらに全国一の「花と緑の町」を目指したいですね。



▶入善町公園マーク
(昭和52年10月制定)

「緑」を背景に、チューリップとこぶしの花形を配し、人と人との「ふれあい」と「きれい」「ゆたか」「生きがい」を3つの小円で表現。

◆すつほんぼん……なんとも涼しい言葉である。「すつからかん」の意。身に付けるものも、銭も無いから、庶民は暑い夏も涼しく過ごせるのだ。「夏は日向を行け」という、この夏は「すつほんぼん」で乗り切ろう。



花と緑の効能

- 心にうるおいや安らぎを感じることができます
- 酸素をつくりだし、空気をきれいにしてくれます
- 四季感や調和感をもたらし、まちを美しくします
- 昆虫や動物たちにも良い環境をつくりだします

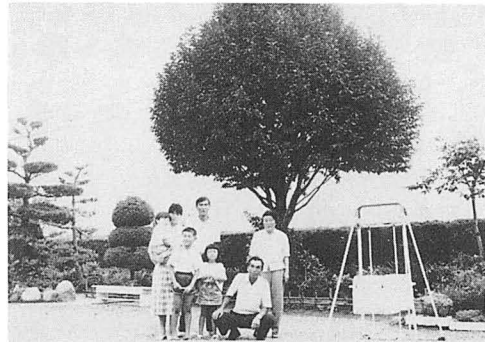
草木を植えて国土の緑を豊かにすることを、一般に「緑化」といいますが、「日本一の花と緑の県」を自さす富山県では、県独自の運動として「緑花」と表現しています。町でも緑花を自さす人はたくさんいます。個人で、グループで住み良い環境づくりをがんばっている人たちを紹介し

「いつもここを通って感じていたのですが、用水の回りが殺風景で何にもないでしょう。それで、今年から梅の木を少しずつ植えていくことにしたんですよ」と説明する柗山2区町内会の上島実さん（65歳）。田んぼの真中を通る横山用水沿いに、5㍍間隔で10本の梅の木が植えられ、今すぐすくと育っています。計画では将来350㍍の並木にしていきたいとのこと。近くでは柗山用水沿いに伸びる500㍍の桜並木が有名で、この地区

10年後がとても楽しみですね

は昔から緑化運動がとても盛んです。「桜並木に負けないほどりっぱに育ってほしいですね。」

と夢はふくらみます。今、とれた実の利用法をみんな考えているそうです。



こぶし、こんなに大きくなりました

今から17年前の春、入善町合併20周年を記念して、全戸に町の木「こぶし」の苗が配布されました。もうすっかり大きくなりました。みなさんのご家庭でも毎年春には白くかんな花を咲かせていることでしょう。

荒田輝男さん（道市・65歳）宅では、りっぱに育った「こぶし」が広い庭に大きく枝葉を伸ばして見事な姿を見せています。植えたときには30㍍ほどしかなかった小さな苗が、今では高さ8㍍、幹回り1㍍にまでなりました。

「一日中日当りがいいので、枝が一方向に片寄らずバランスのとれた形になってくれました。特別な手入れはしていませんがまごころ込めて育てたんです。私もこの形がすごく気に入っているんです。家族もみんなこの木に愛着を持っていて、孫たちは木の回りでいつも遊んでいるんですよ」と、うれしそうに語る荒田さん。「こぶし」は幸せな家族をいつも見守ってくれているかのようです。



●なおと……なおさらのこと。標準語の中間部「さらのこ」を大胆に省略した形。現代っ子の言葉は、「メシ・フロ・ネル」などほんの一言で用事をすませる。始めから終わりまで、はつきり話す練習が大切。でないと話にならない。

身近な緑から

“みんなの緑”へ

近年の都市化の進行と生活様式の変化によって、環境は人口的なものとなり、昔と比べれば町の緑もずいぶん変わってきました。それでも、入善が緑あふれる町であってほしいという私たち一人一人の願いはいつまでも変わることはありません。

花や緑を広めていく上で今後大切なことは何でしょうか。公園の整備や街路樹、プランターの設置などのハード面はもちろんですが、それに参加する町民の輪をもっと大きくし、みんなが協力し合う体制づくりが必要となってきます。

一人一人が身の回りの緑化を進めることも大事ですが、みんなが見ることのできる緑がふえれば、まちがもっと美しく魅力的になると思います。「緑化協定」という制度があります。これは、地域に住む人たちがみんなで樹木の種類や植栽する場所などについて約束を結んで協力しあって、より効果的にまち並みをつくり出していこうというものです。みなさんの地区でも緑の計画について話し合ってみてはいかがでしょうか。



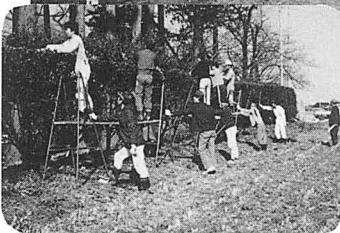
参加してみませんか 花壇コンクール

「花と緑の銀行」では各種の花壇コンクールを毎年実施しています。あなたの地区の自慢の花壇で参加してみませんか。

- 一般花壇コンクール
 - 町並フラワールインコンクール
 - 花の街道コンクール
 - 花と緑の街かど賞コンクール
- 応募方法など詳しいことは役場農政課までお問い合わせください。

☎72-11000(内311)

地域の人たちに喜ばれていきます



「堤防の改修工事で失われた桜の木々の美しさが忘れられなくて、今から13年前、桜の苗木をみんなでもう一度植えたんです。今では120本を数えるりっぱな桜並木になりました」と得意げに話す浦山新徳友会のみ

なさん。その育成管理など優れた緑の愛護活動が認められ、今年4月には建設大臣から表彰も受けました。

木のせん定や枯れ木の補植、害虫防除など管理をするのは決して楽ではありませんが、春に美しい花を咲かせ地区の人たちがみんなに喜んでもらえることが一番の励みだとか。神社に咲くさざんかの手入れや道路花壇づくりにも積極的に参加しています。

見てもらうのも楽しみの一つです

「毎朝4時半に起きて、ていねいに水をかけてやります。花の甘い香りと朝の新鮮な空気を胸いっぱい吸いこむととてもいい気分で、生きがいさえ感じますね。」

田中照さん(入善12区・67歳)

は、若いころから大の花好きで一年を通してたくさんのお花を咲かせて楽しんでます。長男の博さんが入善17区で営む歯科医の院の前では、照さんが育てたタリアやベコニア、サルビア、松葉ボタンなど、大小400個の

プランターが道路わきにずらりと並び、道行く人たちの目を楽しませていきます。その見事な咲きっぷりは思わず立ち止ってしまふほど。昨年は花壇コンクールでも入賞しました。「プランターを置き始めたのは3年前からです。最初は数も少なかったのですが、みなさんにきれいだねと声をかけられるとうれしくてね。ついつい増えてしまったんですよ」と笑いながら話します。

は、若いころから大の花好きで一年を通してたくさんのお花を咲かせて楽しんでます。長男の博さんが入善17区で営む歯科医の院の前では、照さんが育てたタリアやベコニア、サルビア、松葉ボタンなど、大小400個の

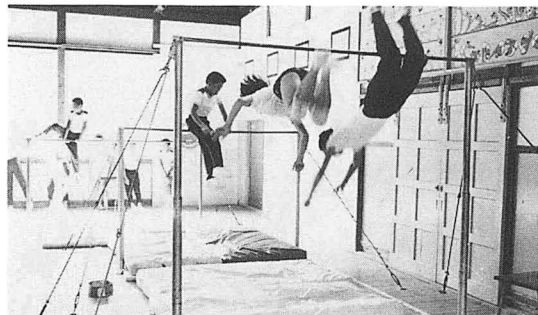


●ぼんちよーはい……お盆の里帰り。里帰りはお嫁さんにとって、もつとも楽しいことの一つである。お盆に家族全員が揃う。孫さんを連れて行ったら言う事無し。西瓜をばったぞー!!みんなで食べまいけ。

まず自己紹介してください
古川 生まれは佐渡島です。家では農業を営んでいましたが私の就職と同時に、新津市へ転入しました。新津市は新潟市から南東へ約20km、信濃川と阿賀野川にはさまれた人口6万5千人のまちです。江戸時代から石油を掘っていて、「石油の里」として油田が観光名所にもなっています。さつきの栽培が盛んで、販売額は日本一と聞いています。

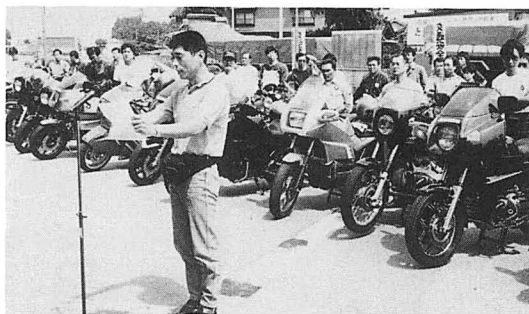
そとから見たにゅうぜん

古川智雄さん(入善15区・45歳)は、北陸農政局黒部川沿岸農業水利事業所に勤務。昨年4月に転勤で金沢から越えてこられました。



みんなでウルトラC 桐山小鉄棒発表会

7月10日、桐山小学校では全校児童(190人)が参加しての鉄棒発表会を開きました。同校の鉄棒運動は30年以上続いており、休み時間や放課後を利用して1年間練習してきた成果をみんなで披露し合います。自分たちで考案したバックコウモリやグライダーとびなどの妙技もたくさん見せ、そのたびにみんなから拍手がわきました。



暴走族じゃないよ

安全運転呼びかけパレード

ずらりと並んだオートバイ。北陸甲信越5県の西ドイツ製BMWオートバイ愛好者が7月7日、朝日町役場から入善警察署までパレードし、暴走族追放や安全運転を呼びかけました。入善署前には合わせて75台が集結。1台150万円以上もするそうです。堀田登さん(大沢野町)が「ライダーの模範として安全運転に努めます」と宣言しました。



今年のジャンボ西瓜は近年にない豊作型になりました。梅雨期になっても適当な雨と晴天に恵まれたためで、丸々と太って出荷も例年より1週間ほど早くなりました。7月21日には高畠地内のほ場に生産農家から30人が集まり、形や重さ、甘みなどを調べる品質査定会が行われました。どの西瓜も大きくて甘みが強く、みなさんニコニコ顔です。

入善ジャンボ西瓜品質査定会

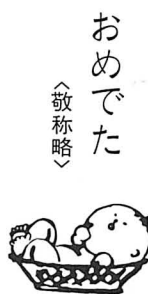
史上最高かもしれない

かめら・じっくす カメラ・トリックス かめら・じっくす

吉 原 大野 82 本 人
 芦 高 義 84 子
 所 高 留 24 世
 氏 名 帯
 住 所 主



入膳(10区)	桐山	木根	舟見	墓ノ木	上飯野新	桐山	入膳(13区)	横山	小杉	新屋	入膳(東七町)	芦崎	上野	上野	上野	入膳(11区)	入膳(6区)	入膳(6区)	住所
米沢修	大角治	笹原敏宏	上野好雄	嶋崎一行	萩野浩二	渋谷博紀	榎山勉	飯田利明	藤塚徹郎	藤田裕司	石川雄一	浅倉徹	中津原秀幸	浦沢正	道又智	長島邦夫	中原博司	酒井日出男	保護者
二女	長男	長男	長女	長男	長男	二男	長男	三男	長男	長女	長女	長男	長男	長男	二女	長女	長男	長女	続柄
麻佑	雄則	佳弥	歩亮	裕太	清貴	和哉	直樹	真翼	真衣	晴日	央平	秀平	秀雄	理平	舞子	聡子	薫志	薫志	名前

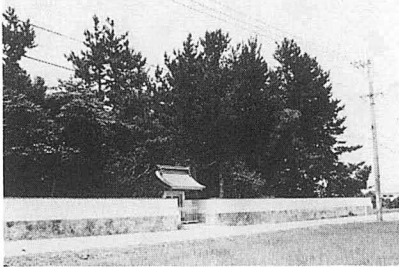


●しつつく……くつつく。暑いのに、しつついて来られると、ますます暑い。心得として、○離れて座ること ○人には冷たくする ○すすい顔をしていること。逆に、思いきり「しつつく」と暑さを感じ無くなることもある。

ふるさとの歴史

巨大地主 の出現

No.42



黒部川の沿岸では度重なる洪水と土地流失に伴う生産性の低下は著しく、藩政期から藩のてこ入れによる田畑復旧や新田開発が行われ、その中心となったのは地方役人である十村(大庄屋)であった。

明治になっても黒部川の洪水常襲地帯という特異性から、経済的実力のある旧十村屋が北海道からの魚肥移入や石灰販売、新規開田などの中心となって農村を支配し、零細小作農の土地を独占して行く。

この結果、県内の他地域には見られぬ草高千石〜三千石という巨大地主が入善地域に出現し、全国でも新潟などに匹敵する特色ある稲作地帯となった。明治19(1886)年の県内地租千円以上納入者10名の内、2名が入善町で、その後も常時2〜3名が多額納税者の上位にあって、貴族院議員互選人となっていた。

大正から昭和にかけての農村不況の中で、個々の地主や小作人の立場を超えた対立が深まり、入善地域にも地主組合や小作人組合が生れた。

平常は雲の上の且那さまと小作人とが直接小作料の交渉をするなど出来る事ではなかったが、生活苦に耐れられず、数十名が集まって格別のご配慮をお願いするというのが一般的な姿であった。

しかし、県内の他地域での斗いの勝利——小作料減額などが報じられるにつれ、米の品質改良費の補償などの実質的小作料軽減を獲得していった。

入善町町史編さん委員

栗三直隆(滑川市在住)

——入善の印象はどうですか？
古川 とにかく水がきれいで豊富なことに驚きました。お酒もおいしいし……。ほかのまちから見ると非常にうらやましいことです。ただ、いつまでもこのままの状態が続くと過信するのはよくないと思います。環境問題が叫ばれる中、水の問題は将来必ず生じてきます。上下水道の整備など、今のうちに計画的な準備が必要でしょうね。
——これからの抱負は
古川 仕事ながら、町のいろんなかたと接しますが、だれとでもずっと親しくしていきたいですね。単身赴任歴も長くなったことだし、今後はもっとゆとりのある生活を見つけていきたいです。山を買って、そこに家を建てるのが夢なんです。

海を再発見しました

下新川海岸NOW30



7月15日、建設省の下新川海岸直轄事業30周年記念イベント「下新川海岸NOW30—親子で海岸で遊び親しみ学ぶ会」が園家山キャンプ場で開かれ、親子や小中学生ら約2,000人でにぎわいました。

会場は遊び、親しみ、学びの3つのゾーンに分けられ、千人NOWクイズやプラスバンドの演奏、海岸を見る船の遊覧などでみんな大はしゃぎ。学びのゾーンでは重さ20kg以上もある5種類の実物コンクリートブロックが展示され、小中学生は落書きを楽しんでいました。

カメラ・トピックス カメラ・トピックス カメラ・トピックス

一	東	新	舟	福	芦	舟	下	舟	吉	春	舟	舟	梶	高	小	木	新	吉	入
(7月15日受付分まで)	宿	狐	屋	見	島	崎	見	飯	見	原	日	見	見	山	島	杉	根	屋	原
	柳	高	杉	東	平	山	金	米	小	池	真	高	谷	長	倉	杉	川	藤	宝
	ハ	ツ	健	て	秀	ち	陸	喜	す	ち	勇	高	直	辰	作	正	チ	や	松
	リ	ヤ	造	い	和	か	奥	善	な	よ	樹	島	太	雄	次	範	ヨ	幸	泉
	89	87	83	99	56	66	57	70	63	94	22	83	83	74	85	67	84	83	84
	光	輝	本	繁	ひ	善	本	本	本	明	ヨ	本	本	本	本	本	悟	稔	進
	子	雄	人	行	な	吉	人	人	人	敏	シ	人	人	人	人	美	人	人	人

◆でんざりむし……カブトムシ・コガネムシの幼虫。夏休みの宿題は昆虫採集ときまっていた。自然の形態が変わり、昆虫がいなくなった。でも、入善には、とんぼ・カブトムシがたくさんいる所がある。見るだけなら場所を教えます。



あの夏、ぼくはこの道で、きみと出会い、そして別れた……
 企画・製作・原作 藤子不二雄A
 脚本 山田太一
 篠田正浩 監督作品

映画「少年時代」 アンコール上映会を開催します

上映会日程 ～コスモホール～

8月13日(月)	(各日とも)
15日(水)	① 10:20 ～ 12:20
16日(木)	② 12:30 ～ 14:30
17日(金)	③ 14:40 ～ 16:40
	④ 16:50 ～ 18:50
	⑤ 19:00 ～ 21:00

今、全国で話題持ちきりの映画「少年時代」。9月には海を渡ってアメリカのハリウッドでも

※コスモホール窓口で発売する券のほか、県下プレイガイドで発売する共通券でも観賞できます。なお今回は期日や時間の指定がありませんので、満員の場合は次回まで待っていただくことがあります。また、共通券として県下の映画館でご覧になることもできます。

前売券発売は 8月1日(水)から

上映されるとか。6月28日から8日間、コスモホールで開かれた上映会では連日超満員でした。みなさんのご要望にお答えして、コスモホールではアンコール上映会を開催することになりました。前回惜しくも見られなかった人、感動のあまりもう一度見たい人、また、都会から帰省されたかたにも映画を通してふるさと入善をじっくりと味わっていただきたいものです。

一般……1,200円
 学生……1,100円
 小学生……800円



尾山久子さん
(入善6区・58歳)

とても懐しかった

この映画を本当に楽しみにしていたんですよ。私は昭和1けたの生まれ。映画のどの場面も自分の子どものころとまったく同じようで、とても懐しかったですね。子どもは子どもなりに精一杯悩んでいるんだなあということを感じさせられました。



法原 隆くん
(上青小6年)

もう一度見てみたい

ぼくは今までアニメ映画しか見たことがなかったけど、「少年時代」はとてもおもしろい映画だなと思いました。やがてもう一度見てみたいです。それにしても、昔はあんなにけんかばかりしていたのかな。ぼくのクラスではみんな仲良しです。

●ねそぼれる……寝呆ける。熱帯夜が続いたりすると、眠りが浅く寝呆ける事がある。子供が「ねそぼれる」場合、一発平手打ちをくらわす。自分が寝呆けた時は、とほけること。

連日“満員御礼”の人気ぶり

入場者数は8日間で10,383人



6月28日から7月6日まで、全国に先駆けてコスモホールで一般公開された「少年時代」。町内各地でロケーションが行われたこともあって、小学生からお年寄りまで町民のみならずの関心は非常に高く、お客さんは連日満席の入り。前売券はあっという間に売り切れてしまいました。

上映当日は、コスモホールの入口に1時間も前から「よい席を」と長い列ができました。上映時間は約2時間、ラストシーンでは会場から拍手がわくなどお客さんを感動の渦に誘っていました。

あまりの人気ぶりのため、最終日の7月6日には予定を急ぎ変更して上映を1回追加するというハプニングも。結果、コスモホールでの映画鑑賞者数は8日間で10,383人になりました。町民3人に1人は「少年時代」を観賞したということになりますね。

映画に便乗しちゃえ！

町のPR作戦を大々的に開始



「少年時代」の原作の舞台であり、ロケ地にもなつ入善町。この映画の人気にあやかり、町では総事業費約600万円をかけて関連事業を行い、「入善」のイメージアップと全国へのPRを図ることにしました。

8月11日から31日まで、全国の東宝系映画館で「少年時代」が上映されるのに合わせ、北陸近県と東京、大阪、名古屋など主要都市の上映館約50館のロビーに特産のジャンボ西瓜を展示

するとともに町の観光パンフレットを配布します。また、藤子不二雄(A)氏デザインによる西瓜ポスターやふるさと産品チラシなどで町と地場産業のPRを図ります。

全国のみなさんにぜひ入善町を知ってもらい、映画ゆかりの地として心に刻んでいただきたいですね。

町内では、「少年時代」や「長い道」に関連した場所を訪ね歩く「ウォークラリー」を8月5日に開催。また図書館展示コーナーでは、藤子不二雄(A)さんと故柏原兵三さんの原作資料展、映画シーンやロケ風景などのスチール写真展を8月末まで開きます。ぜひご覧ください。

●おくしよい……美しい。紀子さまの事。「美人に年なし」年を取ったからといって落ち込むな。おくしよない人は元氣出世、「美人というも皮一重」のことわざがある。考えてみると、昔の人はいい事云うたもんだ。

私たちをよろしく 26名の農業委員決まる



7月19日で任期満了の町農業委員会委員の選挙が、7月10日に告示され、立候補者が定員と同数であったため、全員無投票当選となりました。

その結果、選挙による19名、町議会推薦5名、団体推薦2名の合計26名の新委員が次のとおり決まりました。(敬称略・順不同)
新たに決まった26名の委員は、今後3年間、農業や農民の利益代表者として農地利用の調整、農地流動化推進、生産の増進、農業経営の合理化や農民生活の改善など、農業の発展に貢献していくこととなります。
また、農業の後継者をどうするか、中核の担い手をいかに育

選挙選出 (19名)



五十里克良 (東五十里・55歳) 現



平柳 喜良 (青島・51歳) 新



大田 好雄 (梶山新・62歳) 新



亀田 善市 (横山・54歳) 新



池原 與一 (梶山・60歳) 新



飛島 弘 (五郎八・47歳) 新



福沢 義夫 (福島・58歳) 現



池田 昭 (吉原・61歳) 新



松原 慶治 (上野・56歳) 新



杉沢 啓作 (目川・52歳) 新



長島 輝次 (青木・60歳) 現



小路 信義 (小摺戸・64歳) 現



大林 孝信 (浦山新・60歳) 新



後藤 義秋 (下山・61歳) 現



百石 一雄 (西中・63歳) 新



寺崎 義森 (新屋・63歳) 新



小森 秋義 (舟見・60歳) 現



伊多政太郎 (下飯野・53歳) 新



瀧本 和幸 (道古・59歳) 新

お知らせ

紙おむつを支給

申込みは福祉課へ

町では、おむつを使用しておられる65歳以上の寝たきり痴呆性のお年寄りや、病院や施設に入所していないかたの家庭に紙おむつを支給します。支給枚数は年間お一人100枚です。詳しいことは福祉課福祉係 ☎72-1100 内線141 まで

入善町美術展(町展)は

10月3日(水)〜8日(月)

9月中旬から町民会館窓口で受付を開始します。詳しくは広報9月号でご案内します。ふるって作品を応募してください。◆問合せ先：生涯学習課 ☎72-1100 (内601)



案内

レッツ・ダンス 盆踊りの夕べ

さあ、盆踊りの季節です。町教育委員会では「入善盆踊り音頭教室」の成果発表をかねて、今年も「盆踊り大会」を開きます。参加は自由。仮装踊りもあるよ！
▼日時：8月9日(休)夜7時半～
▼場所：町民会館イベント広場
▼服装等：浴衣やはつぴなど盆踊りらしい服装がいいですね。

◆たらんけ……不足気味のこと。人手や物が不足していることは、代わりがあつてあまり深刻な問題にならぬ。問題は義理・人情や財布の中身が「たらんけ」だったら、事は一大事。

窓の意の善

あたたかいご芳志に感謝いたします
(6月11日～7月10日)

◆社会福祉事業資金へ

富山県	移動商業組合 富山県支部	10,000	観音祭のお礼として
	入善町湧水公苑	1,535	
栢山	長田幸子	50,000	亡夫辰雄の供養として
入膳	匿名	20,000	5～6月分
吉原	栄沢キクエ	300,000	亡夫幸吉の供養として

◆物品の部

入膳 (六区)	匿名 うめぼし会	記念切手 52枚 石けん 20K	福祉施設
------------	-------------	---------------------------	------

食中毒に要注意!

7月～9月に6割が発生



家庭などで発生している食中毒のほとんどは、細菌によるものです。食品に細菌が付いて増殖しても味においも変わらず、知らずに食べてしまうのが怖いところです。夏季の食中毒予防のため、次の点に特に注意してください。

8月1日～7日は、**食品衛生週間**です。

- ① 食品は中心部まで十分に熱を通す
- ② なまで食べるときは、すばやく調理を
- ③ 調理後は、なるべく早く食べる
- ④ 手指に傷のある人は調理をしない
- ⑤ 洗浄、消毒、乾燥をきっちりと

成するか、法律や税金、金融などの相談、農業者年金の手続きについての手伝いなど農業委員の役割はいろいろあります。農地の貸し借りや転用(農地を農地以外の用途に使うこと)については、みなさんすでにご存じのとおり許可制度となっていますが、この審査にあたり判断を下すのが農業委員会です。農業委員会は毎月定期的に開催され、みなさんから出された申請書に基づいて審査が行われます。

用、農業者年金などのことではないことがありましたら、お気軽に相談にお出かけください。相談は無料で秘密は固く守られます。(詳しくは農業委員会事務局 ☎72-1100 内線313までどうぞ)

議会 会 推 薦 (7名)



長田 隆一
(東狐・62歳)
現



竹田 行雄
(笹原・58歳)
現



道又 光雄
(上野・59歳)
新



広川 周作
(古黒部・65歳)
新



山本 徹
(古林・55歳)
新



山本外輝雄
(舟見・57歳)
現



池原 賢晴
(藤原・45歳)
新

お知らせ

母乳で赤ちゃんを育てる喜びや、子育てでの親のふれあいを表現した作品を募集します。
▼募集作品：○ポスター／4切り○標語／1人2点まで○写真／B4版(4切り)▼優秀作品には賞状と応募者全員に記念品を贈呈。▼資格：一般、中学生以下▼応募方法：作品に住所、氏名、年齢、電話番号、資格を記入し8月30日まで健康センターへ。

愛のメッセージ「母乳」 コンクール作品募集

今年(10月1日)の富山県の人口を予想し、正確に当ててください。
※ヒント：平成2年5月1日の推計人口は1,121,283人
▼応募方法：はがきに「県人口予想懸賞解答」と書き、答えを1つと住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入▼応募先：〒939富山県統計課内「平成2年国勢調査富山県実施本部懸賞募集」係へ
▼締切り：10月1日(月)・当日消印有効▼発表：11月中旬▼賞金：金賞5万円ほか19名に賞金

募集 何人いるかな?

富山県人口予想懸賞

●ほんばな……ミソハギ。富山県の平地・山地の陽光湿地に広く生育。「盆にござれ」=死んでお盆に帰って来い。二度と来ると、相手をののしる言葉。なんと恐ろしい事をおつしやいます。盆花・ろうそく・線香立て、ご先祖様に合掌。

私たちの広場

「おいおい、暑いよお…」



イラスト
島 康世さん
(荒又・17歳)

「ご意見などを
お寄せください」

この広場は——

●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えます。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

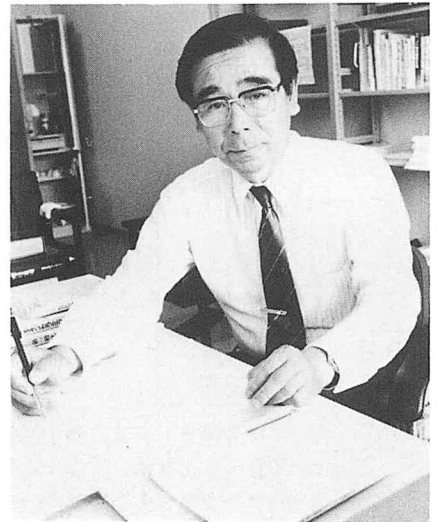
広報担当係 ☎72-1100
内線 203

今年4月に開学した富山国際大学。キャンパスは大山町にあり、立山山麓の広大な丘の上に位置しています。「国際化」や「情報化」が進む社会に対応できる人間をめざして、約300人の学生さんがそこで学園生活を送っています。



本多宗高さん
(上飯野・58歳)

夢見るプロフェッサー



▲大学の研究室で、「研究も趣味の一つです」と本多さん。

この新しい大学の創立には、3年前から多くの学識者らが設立の準備を進めてきました。本多さんもその一人でした。「21世紀の社会に求められるのは、文科系や理科系の枠を越えて柔軟に思考し行動できる人材の育成です」と熱心に語る本多さん。現在、大学では一般教

育科目自然科学系の教授を務めるかたわら、学園生活面の相談役である学生部長としても活躍しておられます。本多さんは昭和31年に東京理科大学理学部化学科を卒業。その後東京大学や民間企業で研究員を務め、昭和57年には東京大学から工学博士の学位も受けました。海水の综合利用の研究や高品質セラミックス材料の開発で大きな業績をあげています。鉱物には特に詳しく、1個の石を見ただけで、それがどこの国の石かを識別できるとか。

船でいくソ連の旅
★ウラジオストック・ナホトカ
〈7日間・9日間〉

旅費 215,000円より

日時 9月6日(木)~12日(水)7日間
9月6日(木)~14日(金)9日間

日曜・祝日も営業しております。

ニュージャパントラベル
TEL 74-0151 FAX 74-0129

今、うわさの **どくだみ茶** 電話予約OK!!
無料配達致します

ご家族の健康維持にお役立て下さい。
(アイス・ホットOK!)

又、各種輸入ブランド品も販売いたしております。(バック・スカーフ・化粧品・etc)

NAKAHARA
な か は ら
TEL 呼72-0543
(夜間) 72-3823

なかはら NAKAHARA
日本生命さん
上田管工さん
ハルフェさん

●なんぞげに……何でも無いように。人知れず苦労する事は多いものです。手伝ってくれとは言いません。一生懸命、仕事や勉強をしていることわかってよ!!「なんぞげに、思つとらいないがけ」こんなお叱り受けめ様おもしろいやりを。

グループ登場

F1レーサーも夢でない

エキサイティング・ドライブチーム かつぺ



▲ハンドルを握らないと落ち着かない？

「かつぺ」は、ただの田舎者の集団ではありません。「レースで勝つべし」を合言葉に、本格的なモータースポーツを楽しんでいるグループです。

いろいろな種目があり、排気量や改造度によって幾つものクラスに分けられます。チームのみなさんは、自分の持っている車に合わせて、それぞれ得意とする種目に出場しています。地方大会参加が主ですが、筑波や鈴鹿サーキットまで遠征することもありたびたびです。

「レースではガンガン飛ばします。気分は最高ですね。でも一般道路では絶対に違反はしません。交通ルールを守らない者はレースに出る資格も無いんですよ」と、きっぱりと話す代表の杉原益宏さん(入善15区・34歳)。

また、「レースで身に付けたテクニックが一般路での安全運転に役立つことが多いですね」と、全員が口をそろえます。

夢は全日本選手権で入賞すること。そのためには新しいメンバー(特に女性)の力が必要なんだそうです。興味のある方は☎78-1279 杉田さんまでご連絡ください。



本田 均さん
(入善15区・34歳)

七夕まつりの仕掛人

「若者のアイデアと行動力で商工業をもっと発展させ、でっかい町にしたいですね。」

本田さんは、自宅で酒屋を営むかたわら、町商工会の青年部長を務める若手経営マン。商工会では、各種イベントや講習会を開催するなど、42人の青年部員のリーダーとして意欲的な取り組みをしています。

真夏のビッグイベントである「入善ふるさと七夕まつり」では、本田さんから商工会青年部が中心となって企画、運営を担当。

プログラムの作成や人員配置、スポンサーや参加者の募集、広告・宣伝など、何か月も前からまつりの準備に取りかかってきました。

今年も恒例のミス織姫コンテストに加えて、アームレスリング(腕相撲)大会やビアガーデン、曳山の披露など新しい催しも盛りだくさん用意し、特にアームレスリングは県の大会として初めて開催するものです。

「今後も七夕まつりの恒例の催しとして定着させ、やがては全国大会も開いてみたいですね」と夢をふくらませます。

「イベントばかりでなく、自分たちの商売をいかにして町民のみなさんへのサービスにつなげていくかを、もっと勉強していきたいですね」と語る本田さん。商売人としての情熱がひしひしと伝わってきます。



▲「今年の七夕まつりは、最高に面白くなりますよ」と本田さん。

入善に、うれしい銘菓が生まれました!!

新発売

郷土銘産 入善産 西風

菓子処 竹内

登録出願中

入善町東洋紡前 TEL 72-0630

塾

小5・6, 中, 高生
英語, 数学, 理科

お問合わせ

☎ 74-0579

入善アカデミー
入膳13区 消防署前

●まごえ……田又は父の実家。入善は上田・田中・竹内の姓が多い。小さい地区では一つの姓が90%を占めることもある。親戚関係が実に複雑である。「まごえ」をしつかり理解しないと失敗することがある。もたもた喋らぬことが肝要。

今月の さわやかさん

No.80



塚田雅乃さん **ビニフレーム
工業株式会社
勤務**
(下飯野・20歳)

アルミ建材や樹脂製品をつくらしている会社に勤め、生産管理の事務を担当しています。就職して3年目、仕事にもずいぶん慣れてきました。時間を上手に使えるようになったのか、余暇の過ごし方も変わってきました。

最近読書に凝っています。二谷友理恵さんの書いた『愛される理由』を読んでジーンとききました。やはり恋愛物が好きで、本の中に登場するような素敵な恋にあこがれますね。

そう言えば、礼宮さまと紀子さまのご成婚はとても感動的でした。私、紀子さまと誕生日が同じなんです。うれしくて、みんなにいつも自慢しているんです。まるで子供みたいでしょ…。私も「いい女」になりたいので、着付けや料理などの習い事を始めようと思っています。

優しいだけでなく時には私のいけないところをしかけてくれるような、そんな男の人と一緒になれたらいいな…。

▼7月6日に行われた舟見七夕まつりの花火大会。翌日、「能登からも花火が見えましたよ」と、金沢市のあるかたから電話がありました。信じられないような話ですがどうやら本当のようです。能登のまちの花火も、入善から見えるかもしれません。▼毎日暑い日が続きますね。今年梅雨だというのに雨が少なく、ずっと好天に恵まれました。おかげでジャンボ西瓜は上々のできばえ。収量、品質とも平年を大きく上回ったそうです。

▼近ごろ、新聞やテレビでは地球の温暖化の問題を報じています。これを防ぐには、森林の保護や植林など緑を増やすことが有効なんだそうです。温暖化の原因となる大気中のガスを、緑が取り除いてくれるためです。「暑いなあ」と思ったら、ふと緑に目を向けてみませんか。そう言えば、木かげで休んだときの涼しさは格別ですね。

あなたと図書館 戦争と平和を 考えてみる

☎72-0180
(直通)
休館日：毎週火曜日

8月15日は終戦記念日。戦後45年を経た今では、戦争を体験されたかたも少なくなっており、直接その体験を聞く機会も稀になってきました。反面、この世界では、戦争の恐ろしさや悲惨さ、そして平和の尊さを後世に伝えようと、次つぎに著されていきます。

今月は、富山大空襲の体験をつづった本を紹介します。「キクちゃんのくつ」は、富山市在住の平尾美智子さんの強烈で悲しい思い出を絵本にしたもの。幼い彼女が憧れていた美しい少女キクちゃん、貧しい故に生ゴムのみすぼらしい靴をはいています。しかし、平尾さんはその靴が大嫌いでした。昭和20年8月2日、空襲で富山の街は焼け、たくさんの人びとが死にました。火の手を逃れ、歩き回った平尾さんは、小川のそばを通りかかったところにふとキクちゃんの生ゴムの靴を見つめます。思わずその靴を履いてみる彼女。しかし、キクちゃんは二度と……。

「子どもたちに贈る戦争体験集」は、高校生による「聞き書き」を第一部とし、直接の体験記を第二部として、約40人のかたがたの思い出が掲載されています。どれを読んでも、体験した者でなければ書けない臨場感と迫力があり、読む人をくぎづけにしています。



「八月二日、天まで焼けた」は、富山大空襲で母と妹を失った中山伊佐男さんと、母を失った奥田史郎さんの共著の本。現在の富山の街は、近代的なビルが建ち並び、空襲の片鱗さえうかがえませんが、この二人のように、今でも深く傷ついた心を抱きながら生きている方も多いのでは……。

他にも、富山大空襲について次のような本があります。なお、「戦争と平和を考える本展」を開いていますので、ぜひご来館ください。

富山大空襲 北日本新聞社
戦争の時代を生きて
富山県の民衆史を掘り起こす会編

富山編(富山の熱い空) 33巻1
創価学会青年部編

今月の人口	
人口	30,134(+5)
男	14,425(+1)
女	15,709(+4)
世帯数	7,884(-3)
()内は前月比	
6月末日現在住民登録	

編集室